

平成30年度 事務事業評価シート

事務事業名		歯科基本健康診査				所管	健康部 保健サービス課		
事務事業の概要	行政計画	事業NO.	148	計画事業名	各種健康診断の推進				
	長期総合計画体系	[基本目標] Ⅲ-1. 健康づくりと、自立生活を支える基盤づくり						事業の開始・終了年度	
		[小 柱] (1)区民の主体的な健康づくりの支援						[事業開始]	平成13年度
		[施策] ①生活習慣病の予防						[終了予定]	- 年度
	根拠法令等	法令(義務)	[法令等名]	健康増進法第19条の2、歯科口腔保健の推進に関する法律第8条					
	事業対象	直接の対象 : 一般区民(30歳、35歳、40~55歳、60歳、65歳、70歳、75歳) 最終的な対象 : 同上							
	事業目的	口腔疾患は全身疾患とも密接な関係を有することから、歯科基本健康診査を実施することにより、口腔疾患の予防、早期発見、及びかかりつけ歯科医の定着促進を図り、成人・高齢期における健康を維持する。							
事業内容 [29年度]	<ul style="list-style-type: none"> ・歯科健診の実施 内容:問診、口腔内診査、歯科保健指導 場所:区内委託歯科医療機関 時期:通年 ・生活習慣の改善等を啓発するニュースレターの送付(通年) 								
委託の有無	一部委託	委託内容	歯科基本健康診査実施、歯科基本健康診査受診票印字・封入封緘						
補助金の有無	都		歯科基本健康診査データ入力、歯科基本健康診査受診勧奨通知作成						
事務事業の実績	種 別	指標の名称	単位	31年度 目標値	27年度 実績	28年度 実績	29年度 実績 目標値 達成率		
	活動指標	実施期間	-	通年	通年	通年	通年	通年	-
		成果指標	受診率	%	9.5	8.7	8.2	8.7	9.5
		受診者数	人	6,700	5,451	5,305	5,802	6,100	95.1%
	決算額 (単位:千円)				27年度		28年度		29年度
	事務事業コスト (単位:千円)	人にかかるコスト(人件費など)			39,693		42,297		46,041
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)			4,812		3,812		5,264
		その他のコスト(扶助費・補助費など)			39,693		42,298		46,041
		総経費			0		0		0
	財源項目 (単位:千円)	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)			44,505		46,110		51,305
その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)			0		0		0		
一般財源(区負担額)			2,769		2,194		2,900		
前回評価から29年度に改善した事項	前年度まで誕生日により3~4か月間で案内していた受診期間を6~7か月間と期間を延長することで受診機会を拡大、また、受診勧奨の対象年齢を前年の35、55、65歳に加え、60、70歳にも実施し、受診率向上を図った。								
評価の視点	評価	評価の理由							
	必要性	3	口腔疾患は全身の健康と深く関わっており、口腔疾患の予防、早期発見、治療の重要性の普及啓発は全身の健康維持増進へとつながる。また、信頼できるかかりつけ歯科医を見つけるきっかけとなることから、本事業の必要性は高い。						
	効率性	3	受診期間の延長や受診勧奨年齢の拡大等受診率向上対策を図り、前年度に比べ受診者数が増加したためコスト増となった。多くの区民の口腔疾患の予防・早期発見及びかかりつけ歯科医を持つきっかけとなっており、効率的に効果をあげることができている。						
	手段の適切性	3	区内の歯科医療機関で健診を実施することにより、かかりつけ歯科医を持つ区民の増加と生涯にわたる口腔ケアの習慣づけにつながるから、手段は適切である。						
目的達成度	3	受診率向上の取り組みを行い、受診者数は増加したが、今後も歯科健診の周知・啓発等区民に向けたより一層の働きかけが必要である。							
[総合評価] ※上記4つの視点を踏まえ、事業全体を評価。区民生活への影響を十分考慮すること。						今後の方向性		拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了	
歯科基本健康診査を実施することで、口腔疾患の予防、早期発見・治療につながり、歯と口腔の健康の維持向上が期待できる。今後も歯科医師会と連携を図りながら、受診行動につながる取り組み及び歯科疾患罹患患者の減少に向けた啓発を行っていく。						維持			